

地域にはばたく市民パワー!

# ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙  
2011年 12月号 (第45号)  
発行責任者 加曾利 厚雄

## 倶楽部総会特集



ところざわ倶楽部総会 : 23.11.17

## ところざわ倶楽部 第5期活動指針

ところざわ倶楽部会長 加曾利 厚雄

ところざわ倶楽部は、11月17日(木)の総会を終えて、節目の5年目を迎えることとなりました。そこで、第5期の活動指針は、第4期の反省点(課題)を踏まえて下記のとおりとしました。

- 1 前年度の繰越金(16万)の使い方を検討する:総務部  
ところざわ倶楽部所有のパソコンを購入しホームページ作成など検討する。  
購入に当たっては、個別に理事会の承認のもと進める。
- 2 更なるサークルとの連携を強化する:事業部・総務部  
弱小サークルとの連携強化、講演会以外の連携:地域ボランティアなど
- 3 開かれた理事会を目指す:総務部・事業部  
会員が倶楽部の事業計画に参加する又参加できる体制を構築する。  
理事会には会員誰でも参加できることとする。
- 4 ところざわ倶楽部ホームページを再構築する:広報部・総務部
- 5 会員が“広場”“ホームページ”の活用を気軽にできる体制をつくる:広報部・総務部
- 6 理事会各部署は相互協力を基本とする:総務部・事業部・広報部  
基本データは共有する。各部のデータはUSBメモリーに残す。
- 7 来期に向けて女性理事を増員する:会長・各部長
- 8 特別会員とのコミュニケーションを改善する:総務部・広報部

また、事業推進の基本は、ところざわ倶楽部の持つ次の3つの特色を活かすことです。

- ① サークルが多いこと ② 人数が多いこと ③ 人材が豊富なこと

そして、活動のキーワードは、〈学ぶ(調べる)〉、〈見る(観察)〉、〈食べる〉、〈考える〉、〈遊ぶ〉です。  
皆様の一層のご支援とご鞭撻をお願い致します。

## 第5期総会報告

総務部長 菅沼庸雄

第5期定期総会は、11月17日(木)新所沢公民館ホールで開催されました。

開催に先立ち13時より一部のサークルの活動紹介(オカリナ演奏、シェークスピア劇的一幕等)と、本年度新たに作られた「所沢倶楽部の歌」の紹介、歌唱指導が行われ、総会前の硬い雰囲気をはらげる楽しい一時となりました。

なお、総会開会時点における登録会員数は237名、うち総会に出席した会員は107名でした。

予定通り14時に総会が開会となり、前半は第4期の活動報告、会計報告と監査報告及び役員改選提案があり、後半は第5期の新役員による第5期の活動計画、予算の提案がなされました。第5期会長は加曾利氏が留任となりました。

第5期の活動方針は、第4期の活動の反省を踏まえ、サークルとの連携を強化した活動、会員に開かれた広報紙「広場」やホームページの改善の方向が示されました。平成19年11月発足した「ところざわ倶楽部」は、4年の歳月を経て所沢市民大学修了者の会としての地位を固め、その活動の姿も固まりつつあります。

活動の全体が、更に会員に開かれたものとなるよう努めること、理事会などへの女性の積極参加を期待する要望などがありました。

以上の通り、総会への報告・提案議題の5項目は、すべてが原案通り承認される一方、忌憚のない会員からの質問、意見を通し相互の意見交換、理解が進んだものと信じています。以上の報告・審議の後、16時前に閉会いたしました。



オカリナ演奏



加曾利会長



第4期役員：お疲れ様でした。

### 【第5期理事及び担当分野】

会 長	加曾利厚雄(公園を楽しむ会)	
総務部	事業部	広報部 (HP 担当含む)
菅沼庸雄(部長) 傍聴席	若山昭(部長) 音楽連市民大学派	池田新八郎(部長) 葵の会
阪口義男(会計) 傍聴席	志村喜八 アジア研究会	井手敏直 地球環境に学ぶ会
加茂恵三 地域の自然	荒木洋哉 楽悠クラブ	高橋赳彦(広場編集) 所沢の自然と農業
杉浦正紀 地或の自然を考える会	高木宏明 歴史散策クラブ	岡田俊吾 アジア研究会
小坂英子 ドラマチック・カンパニー	小野ちづる 野菊の歴史を考える	小林典子 葵の会
森下尚洋 葵の会	薄井文子 公園を楽しむ会	菅沼庸雄 (HP編集業務) 傍聴席
監査 小椋雄二(アジア研究会)・飯泉陽子(葵の会)		
無所属 樋口俊夫(北欧の会)・島川謙二(アジア研究会)・斉藤昌弘(ダースの会)		

## 総務部の運営方針「会の活動を底辺から支える！」

総務部長 菅沼庸雄

第5期の総務部長を拝命しました。総務部の運営方針としましては、この倶楽部の活動を底辺から支え、会員の皆様と共に健全な活動が進められるような運営を目指していきたいと思っています。

総会で会長から活動指針がいくつか示されています。この会の日常活動は、サークル活動そのものであり、隔月のイベントもサークルとの連携を基調に進めようとしています。こうした方針が滑らかに進むような体

制、ツールなどを整える事が使命と考えています。

開かれた理事会、開かれた広報ツールを会員の皆様のコミュニケーション・ツールにする取り組み、女性会員の会運営への積極参加を側面支援したいと思っています。

会員の皆様からの御要望、御相談に気軽に対応できるよう心がけたいと思っています。

## 各サークルと連携！第5期「事業計画」

事業部長 若山明

月	内容・実施予定・講師	担当サークル
1月	サークル紹介と講演会（北欧デンマークの社会福祉 中能孝則氏）	北欧の会
3月	講演会「男女共同参画を考える」皆川万寿美氏	音楽連市民大学派
5月	講演とディスカッション「所沢の街づくり」安藤聡彦氏	公園の会・傍聴席
7月	文化祭・自前講座・暑気払い会	楽悠クラブ・ドラカン
9月	講演会「所沢の近代史」（仮）	歴史散策・野老澤の歴史
10月	農と里山について（芋煮会）	所沢の自然と農業、他

新事業部長を拝命いたしました音楽連・市民大学派の若山です。諸先輩方をさしおいての事業部長とは大変におこがましいのですが、日頃感じてきた「ところざわ倶楽部」の固さを少しでも払拭できればと考えています。

第5期の事業計画については、加曾利会長と小職とで作成しました計画案で、時間上の制約からも、関係サークルと十分に根回しができているものではありません。したがって、必ずしもこのとおりに実施できるものとは思っておりません。しかしながら、年間事業計画そのものにテーマ性をもたせたいという会長の意向には異論はありませんし、今期予算計画作成のためにもぜひとも作成しておかなければと思い、会長との

話し合いの中であくまでも案として作成いたしました。

今期のテーマとして考えているのは「ところざわの活性化」のために、我々がなにを学ばなければならぬか、また、なにが出来るのかと、これからは「女性の力」だという共通認識です。キーワードは「北欧」。

今後の方針として、本年2月のところ荘においての「ところざわ倶楽部の将来事業計画」において決定された、サークル主体で活動を行い事業部はそれを支援していくというスタンスです。ついては、第5期事業計画（案）をベースとはしながらも、各サークルとの関係を緊密にして、今後の活動を具体化していく所存です。

## 「広場」と「ホームページ」を2大柱に推進！

広報部長 池田新八郎

「ところざわ倶楽部」も5期目になり、所沢市民大学14期、15期から生まれた所属サークルは、それぞれの目的に沿い、活動が本格的になってきています。

「地域の自然」や「所沢の自然と農業」サークルのように地域に根ざした活動もあれば、「ダースの会」や「楽悠クラブ」等、自分たちの視野を広げる趣味的な活動（音楽・芸能）にも多くの方が参加しています。また、「野老澤の歴史を楽しむ会」や「傍聴席」、「アジア研究会」等文化的な活動もあります。

サークル活動が深化、発展する一方で、最近「ところざわ倶楽部」はその存在、あり方が問われ、ターニングポイントの時期を迎えているかに見えます。

多様なサークルが所属しているため、多様な考えがあると思いますが、「ところざわ倶楽部」が設立時に掲げた「所沢市民大学」修了者の集まりとしての原点に

立ち、纏まっていく事が重要と考えます。

広報に関しては、第4期で「広場」の器、伝達方法（メール配信・郵送）の改善に努めるとともに、倶楽部ニュース（倶楽部の各事業、東日本大地震震災者への募金他）や各サークルの活動状況の紹介等を掲載し、順調に推移して参りました。

第5期は4期で始めた「ホームページ」を是非確立していきたいと考えています。

今期は製作スタッフも一層充実しましたので、企画方針を固め、会員、市民大学生のみならず、広く市民にアピールできる内容にしたいと考えています。

広報部は、「ところざわ倶楽部」のメディアとして、「広場」と「ホームページ」を2大柱に、会員の皆様のご協力を頂きつつ広報活動に当たりますので、よろしくお願い致します。

## 《1 月度倶楽部事業》

**「講演会」・「サークル説明会」開催のお知らせ**

第5期「ところざわ倶楽部」主催の最初の講演会であり、担当サークルは「北欧の会」です。講演会に先立ち、18期生へのサークル説明会も開催されますので、奮ってご参加ください。 事業部長 若山 昭

## 講演会のお知らせ

**「北欧デンマークに学ぶ福祉社会」**

～日本の将来のあるべき姿を考える～

日時：平成24年1月28日（土）14：00～16：00

13：00～13：45 18期生へのサークル説明会があります

会場：新所沢コミュニティセンター別館 ホール

講師：中能 孝則 氏

（ひの社会教育センター館長）



中能 孝則氏

この講座は、「幸せで安心して暮らせるデンマークの福祉社会」とはどんな社会なのか、福祉の考え方、高負担高福祉の実情や日本との民主主義の違いなど 20年 20 回にわたりデンマークの視察旅行と交流を続けてきた講師の体験のもとに幅広く語っていただきます。

この機会にグローバルな視点から日本の進むべき方向やこれからの生き方を考えてみようということで企画されました。

講師である中能孝則氏は、現在（財）社会教育協会ひの社会教育センターの館長を務められており、1951

年生まれ。

1974年から財団法人 社会教育協会に勤務されており、1993年、高齢者福祉活動の仲間と共に「デンマークに学ぶ高齢者福祉視察」を企画し、訪問されました。

また、2000年より「のんびりゆっくり世界を旅しよう熟年の旅」を企画され、これまで70回近く海外渡航をされています。

2008年度には内閣府主催の国際青年育成交流事業の団長としてカンボジアを訪問され、終了後、皇居において天皇陛下に事業の報告をされています。

**出演者・グループ大募集！**

第5期事業の一つとして、7月に暑気払いを兼ねた文化祭（芸能祭）を計画しています。日頃の研究発表といった、肩肘の張った催しではありません。飲み食いしながら、ゲラゲラと笑いながら、和気あいあいと、「ところざわ倶楽部」の親睦を企めることが主目的です。新事業部長としましては、“固いイメージの「ところざわ倶楽部」に新風を吹き込みたい”、と意気込んでおります。

つきましては、出演者を募集します。我こそは日頃磨いたこの芸を見てもらいたい、あの人のあの芸をもう一度など、自薦他薦を問いません。また、個人、グ

ループ、サークルも問いません。

発表時間は構成にもよりますが、あまり長いと飽きますので長くても15分から20分程度とお考え下さい。

出演希望者もしくは推薦者は、メール・タイトルに「文化祭出演希望」と明記して、若山宛て電子メールにて2月末までにお送りください。

メール・アドレス：[akr-wkyama@jcom.home.ne.jp](mailto:akr-wkyama@jcom.home.ne.jp)  
若山昭です。

なお、出場希望多数の場合は、理事会によるオーディションもありえます???

事業部長 若山 昭

# サークル活動計画



■12月・1月のサークル活動！興味ある活動に参加してみませんか！

<b>アジア研究会 (小椋雄二 2921-7739)</b> 12月14日(水) 16時～ 定例会 「今年も元気で頑張った！来年もやったるぞ会」 所沢市内某飲食店で開催。 1月定例会は1月18日(水) 予定。 場所、開催時刻、演題は後報。	<b>地域の自然 (加茂恵三 2944-6554)</b> 12月10日(土)堆肥の集積と堆肥場の整備 9時～ 12月24日(土)畑地の掘り返しと整地 9時～ 1月14日(土)同上 1月28日(土)調査地整備 (落葉掻き) 9時～
<b>傍聴席 (高垣輝雄 2926-7164)</b> 12月19日(月) 15時～17時 場所：新所沢コミュニティセンター別館7号室 内容：定例会 議事等は未定 ※17時過ぎより場所を変え忘年会	<b>歴史散策クラブ (大河原功 2943-2004)</b> 12月10日(土) 総会 場所 新所沢東公民館 時間 15時～17時 *忘年会は中止して新年会を計画します。
<b>楽悠クラブ (甲田和巳 事前連絡は不要)</b> 1月10日(火)13時30分～ 中央公民館8・9号室 映画「サウンド オブ ミュージック」DVD鑑賞 同日17時30分より新所沢「花木水」で ピアニスト下山静香さんを囲んで新年会！！	<b>ドラマティック・カンパニー (八木雅子 2995-0148)</b> シェイクスピア「十二夜」を読み進めます。 12月17日(土)、1月7日(土) 時間：10時～12時 場所：新所沢コミュニティセンター別館
<b>地球環境に学ぶ (塚本二郎 2942-3117)</b> 12月20日(火) 15時～新所沢コミセン別館5号室 定例会・各自勉強の発表、一年間の反省 忘年会 1月17日(火) 15時～場所、同上 定例会 1月28日(土) 開催予定のサークル紹介打合せ	<b>葵の会 (池田新八郎 2940-0711)</b> 12月15日(木) 定例会 中央公民館5号室 定例会・13時30分～16時 テーマ・源氏物語 美少女発見「若紫」巻 1月12日(木) 定例会予定
<b>地域の自然を考える会 (前岳良子 2928-7334)</b> 12月27日(火) 総会兼忘年会 1月24日(火) 定例会 平成23年度活動について 12月及び1月の場所、時間は追って連絡	<b>野老澤の歴史を楽しむ会 (嶋崎永司 2948-7331)</b> 12月15日(木)野老澤の歴史をたのしむ会総会 ※ 場所・集合時間 生涯学習センター ※ 15時 ※ 終了後・忘年会を予定
<b>公園を楽しむ会 (竹内隆造 2922-3711)</b> 12月22日(木)：14時～ 生涯学習推進センターにて 来年度計画の話合い。終了後忘年会を実施します。 1月26日(木)：古都鎌倉への初詣に、福祉バスを利用して行きます。 会費3,500円、定員：30名 申込み順	<b>北欧の会 (樋口俊夫 090-6483-7993)</b> 1月28日(土) 第27回例会 14時 講演会「北欧デンマークに学ぶ福祉社会」 場所 新所沢コミセン別館 2月25日(土) 第28回例会 13時20分
<b>所沢の自然と農業 (高橋起彦 2924-2056)</b> 12月13日(火) 15時～月例会：新所コミセン別館 17時～忘年会：新所界限 12月17日(土) 10時～13時30分 WAVOC 材木等幼虫調査参加 12月19日(月) 10時～ 関谷農園下草刈予定	<b>音楽連・市民大学派 (若山昭 2922-1494)</b> 12月 5日 (中央公民館 13:00-15:00) 例会 12月19日 (中央公民館 13:00-15:00) 例会 1月23日 (中央公民館 13:00-15:00) 例会 1月30日 (中央公民館 13:00-15:00) 例会

《 一寸庵閑話 》

・イギリスのテレビ・オーディション番組はスーザン・ボイルを世に送り出し、世界は彼女の『夢やぶれて』などの美声に酔いしれました。今年の8月エマニュエル・ケリーという一人の身障の青年(17才?)が『The X Factor 2011』というテレビ・オーディション番組に登場しました。

・エマニュエルは、アメリカのイラク戦争中、兄ともども、ひどい身障者として生まれました。アメリカの生物化学兵器のためといわれています。そして公園で靴箱に入った状態で救われ孤児院に預けられました。オーストラリア人の女性に里親として育てられたそうです。彼は不自由な右手でマイクを持ち、ジョン・レノンの『イマジン』を歌い始め、すぐに聴衆の割れんばかりの大拍手を受けます。

感動の場面をご覧ください。

<http://www.youtube.com/watch?v=W86jlvG54o>

または

<http://www.youtube.com/watch?v=SQRf4g079UY>

・『イマジン』は1971年に発表された、ジョン・レノンの世界平和へのメッセージ・ソングで、『広場9月号』でも書きましたが、私の大好きな歌の一つです。

1990年10月9日にはジョン・レノン生誕50年を記念してニューヨークの国際連合本部より、全世界170カ国に向けて発信されました。

さあ想像してごらん みんなが ただ今を生きているって・・・ただ平和に生きているって・・・世界を分かち合うんだって・・・きっと世界はひとつになるんだ

・大宅壮一が『一億総白痴化』とテレビ文化を喝破、断罪しましたが、どうしようもないわが国の地上テレビ番組にくらべ、イギリスにこうした質の高い番組があることを思うと、あらためて日本の将来を憂えてしまいます。(ケン・シェイクスピア)



料理コーナー



後藤律子

先月に引き続き今月も大根の料理を紹介します。大根の調理法と言えば煮たりサラダ、漬物にするのが主ですが、炒めたり焼いたりするのも美味しいですよ。

＜酢抜き煮なます＞ 2人分



\*材料

- ① 大根：4分の1本(約200g) ② 人参小：1(約40g)
- ③ 油揚げ：2分の1枚 ④ 刻み昆布：10g ⑤ 鷹のつめ：小1本 ⑥ すり胡麻：適量 ⑦ サラダ油：大匙1

\*調味料

- ① だし：中匙1 ② 砂糖：中匙1 ③ 薄口醤油：大匙1

\*作り方

- ① 大根、人参、油揚げ(縦に半分後)を千切りにする。
- ② フライパンにサラダ油と、種を取って刻んだ鷹のつめを入れて強火で熱する。
- ③ 少し煙が出るくらい温まったら材料①②③を入れ、強火で炒める。火が通ったら④を入れよく混ぜ合わせる。
- ④ 中火にして調味料を入れ、よく混ぜ合わせる。
- ⑤ 器に盛り付け、すり胡麻をかける。

【ポイント】 強火で手早く炒めること。大根、人参によく火が通ってから調味料を加えること。

＜大根ステーキ＞ 2人分



\*材料 ① 大根：200g ② サラダ油：適量

\*調味料

- ① レモン汁：大匙2 ② 醤油：大匙1 ③ みりん：小匙2

\*作り方

- ① フライパンにサラダ油を熱し、厚さ1.5センチに輪切りにした大根を焼く。焦げ目がついたら火を弱め、蓋をし、15分くらい蒸焼きにする。
- ② 大根に串が通るくらい柔らかくなったら火を強め、調味料を入れ、少し煮詰めてから火を止める。

お好みで、ごま油、柚子皮のみじん切りをかけても良い。

山の幸詰めて通草アケビの里料理 鈴木 征子  
 小夜ふけて林檎煮てゐる厨かな 高光 泉  
 鮮やかに鉢伏山の鳥兜 田中 溢子  
 明明と日を映し込む榎植(かりん)の実 利根川啓一  
 白障子ぼつと灯りの点りけり 中村 直子  
 狐火や長持ち唄が峠越ゆ 橋本 佑子  
 秋彼岸母の一首を諳んじて 平栗 彰子  
 蕎麦食ふて紅葉且つ散る深大寺 荒幡千鶴子  
 山里の日をはね返す柿の秋 飯泉 陽子  
 潮騒の砂浜駆けり憂国忌 井出 昇



井出 昇  
 飯泉 陽子  
 荒幡千鶴子  
 平栗 彰子  
 橋本 佑子  
 中村 直子  
 利根川啓一  
 田中 溢子  
 高光 泉  
 鈴木 征子

窯出しの竹炭硬き音を秘め  
 赴任地に四年のたつきささめ雲  
 帰り着てどきりと土間に葱の束  
 きちきちや百年前の初飛行  
 高千穂の新酒酌みあふ天つ神  
 産校の百葉箱や鴉の声  
 穠(ひっじ)田につづく野面の日暮れかな  
 縄文人招きて大地秋まつり  
 背丈より長き萱負ふ老夫婦  
 収穫のよろこび分かっ芋煮会

高橋 三郎  
 高梨 千代  
 白神 恵子  
 佐藤 八郎  
 小林 典子  
 小林 貞夫  
 河瀬 俊彦  
 粕谷 昇  
 岡本 博  
 海老澤愛之助



むさし野俳句会(二十三年十一月) 作品抄

